

## 鹿児島中央生は、やっぱり本が好き！—平成25年度 図書館統計—

### \*よく読まれた作家

・三浦しをん・小川洋子・浅かなえ・有川浩・朝井リョウ・百田尚樹・伊坂幸太郎・辻村深月

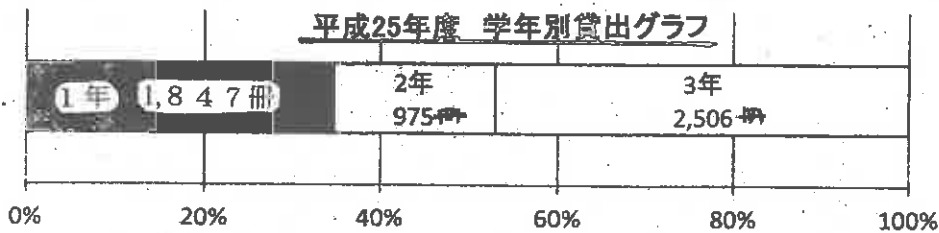
### \*よく読まれた本

- 第1位 『舟を編む』 三浦しをん 著 (光文社)
- 第2位 『博士の愛した数式』 小川 洋子 著 (新潮社)
- 第3位 『島はぼくらと』 辻村 深月 著 (講談社)
- 第4位 『理解しやすい現代社会』 黒川 和美 編 (文英社)
- 第5位 『キケン』 有川 浩 著 (新潮社)



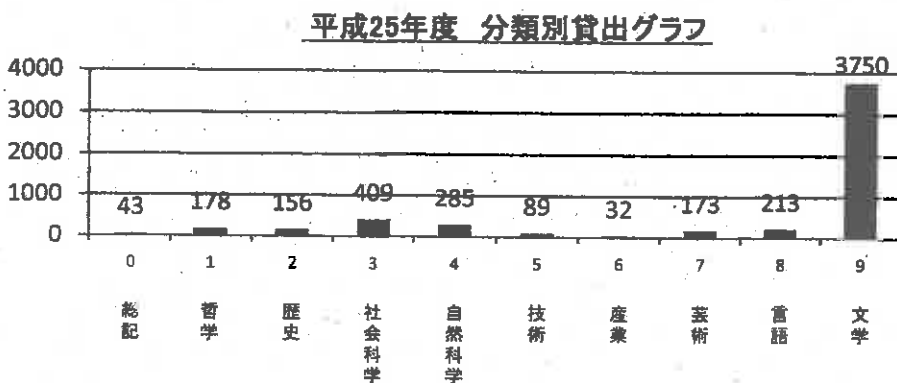
本屋大賞受賞作品や映像化された作品がよく読まれました。

### \*データあれこれ



平成25年度図書館利用状況(まとめ)

学年別貸出冊数	1年	1,847冊
	2年	975冊
	3年	2,506冊
男女別貸出冊数	男	1,988冊
	女	3,340冊
生徒貸出総計		5,328冊
1日あたりの貸出	1年	9冊
	2年	5冊
	3年	10冊
1日あたりの貸出(全体)		23.8冊
生徒1人あたりの貸出		5.5冊



時間外利用者数	15,170人
時間外開放日数	317日
時間外開放時間	1,397.45時間
1日あたりの時間外利用者数	47.9人

## 連休中の利用について

**連休中も学習室は毎日開館します！大いに利用してください。**

開館時間は 8時30分～16時30分です。

\*連休中は掃除ができませんので、卓上の消しゴムや入れのゴミは、学習室のゴミ箱に捨てて帰りましょう。椅子もきちんと机の中に入れて席を立ちましょう。

\*学習室では飲食禁止です。水筒やペットボトルなどの飲み物は、廊下に出て飲んでください。

\*昼食は視聴覚室を利用してください。(利用時間は12時～13時です。)

**連休中、書架室は閉館します。連休前に読みたい本を借りておきましょう。**

\*貸出冊数・・・ひとり5冊まで

\*貸出期間・・・1週間

通常通りの貸出ですが、この連休中に読書の楽しさに出会えますように！



# 翻訳の世界

この4月から、NHK朝の連続テレビ小説で児童文学の翻訳家・村岡花子の生涯を描いた『花子とアン』が始まりました。村岡花子といえば『赤毛のアン』です。1939年、村岡花子は友人のカナダ人宣教師が母国に帰国する際に、一冊の本を譲り受けます。『Anne of Green Gables』です。その頃、日本は大きな戦争へと向かっていました。敵国の言語で書かれた本が見つければ大変なことになります。村岡は空襲の際にもこの本を胸に隠し持ち防空壕へと逃げ、薄暗い電灯の下で毎日毎日翻訳を続けました。そして1952年、ついに日本初の『赤毛のアン』の翻訳本を出版したのでした。孤児のアンが自分の居場所を求めて奮闘する姿は、戦後の日本人に夢と希望を与えたといわれています。当時は作者のモンゴメリーについての情報も乏しく、また戦時中だったということもあり、カナダという国の情報もほとんど入手できぬままに、ひたすら翻訳を続けた村岡の苦勞はいかばかりだったことでしょう。今でも多くの翻訳者によって『赤毛のアン』が出版されていますが、それでも村岡花子の『赤毛のアン』が一番の人気のようです。

「映画にはじめて「クリネックス」という固有名詞が登場したときは、なんのことかわからず、やっと鼻紙のようなものだどわかったが、「ティッシュ」ということばのあるはずもなく、「桜紙」という字幕がついたそうである」

これは、映画の字幕翻訳者の戸田奈津子の著書『字幕の中に人生』からの抜粋です。今では子どもでも知っている「ティッシュ」が、当時の日本には存在すらしていなかったのです。翻訳という仕事の難しさと楽しさを知ることのできる一冊です。

翻訳家になりたい人や外国語を学びたい人たち、翻訳の楽しみや苦勞が書かれた本を読んでみませんか。また、外国文学の好きな人にもお勧めします。ぜひ、お読みください。

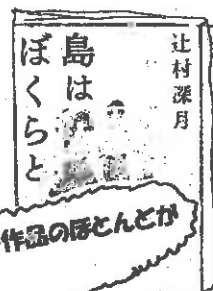
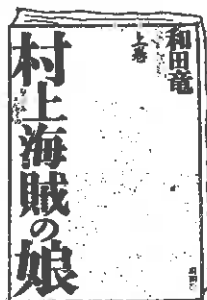
参考文献：『やっぱり赤毛のアンが好き』松本 正司ほか 著（世界文化社）

『字幕の中に人生』戸田 奈津子 著（白水社）



## 本屋大賞受賞を読む！

出版不況のなか、本と読者を最も知る全国の書店員が「売り場からベストセラーをつくらう！」と設立した賞です。本を売るための苦肉の策・・・だったのかもしれませんが、「売れる本＝おもしろい本」だから本屋大賞受賞作品はおもしろい作品ばかりなのかもしれません。今年度の本屋大賞受賞作品は、和田竜の『村上海賊の娘』（新潮社）でした。その他のノミネート作品も傑作揃いです。連休を利用して読んでみてください！



今年度の本屋大賞/ミネート作品のほとんどが  
敬愛館には揃っています！

## 編集後記

風薫る5月、爽やかな季節の到来です。5月は少しずつ新しい環境にも慣れ、目標にむかって進み始める頃です。お互いに励まし合いながら頑張らしましょう。そして、たまには読書でリフレッシュしてください。肩の力が抜けて、元気の素が見つかるかもしれません。今年度もひとりでも多くの人に「読書の喜び」を伝えていければ・・・と思います。